

《令和7年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

令和8年3月末 現在

施設名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容 (計画)
地域医療連携部	地域包括ケア構築へ向けた地域との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築へ向け、より強固な連携の推進が求められている。 ・医療・介護の問題は地域で共通する部分があり、協力して解決していかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括ケア推進のため、近隣の保健医療機関に診療部と連携し計画的に訪問する。 ○明石市域訪問看護ステーション連絡会、明石市介護サービス事業所連絡会、あんしんネットワーク定例会など地域の会議に参加し課題を共有する。 ○近隣地域での共通の医療・介護に関わる課題を分析し、がんセンター主催の地域交流会において、多職種で考えられる交流会を企画する。 	令和8年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関訪問を計198施設実施し、医療機関のご質問や困りごとに対応した。 ○明石市域訪問看護ステーション連絡会、明石市介護サービス事業所連絡会、あんしんネットワーク定例会など地域の会議に予定どおり参加し、情報共有を行った。 ○地域交流会は2回実施し、身寄りのない患者の医療と介護、認知症患者のACPをテーマに行政や地域医療機関の協力を得て企画し、各約100名の参加者と意見交換ができた。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○R8年診療報酬改定により、医療機関のニーズは変化していると予測される。連携と協力体制を維持できるよう訪問活動は継続する。 ○在宅ケアや医療と介護の連携について、引き続き会議や交流会で顔のみえる関係を築くためには、継続が必要である。
	地域の医療機関が安心して紹介できるよう返書管理の対応を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・返書管理が十分に行えていない。(返書率100%達しない) 	<ul style="list-style-type: none"> ○返書管理の担当者を決め、返書状況の全体像を把握する。 ○返書が滞る診療科には部長からアプローチを行う。 	令和8年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ○返書の未作成について、定点でチェックをかけ督促をかけることで、毎月95%以上の返書が完了できた。 	完了	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組みにより返書率が維持出来ているため、取り組みは継続とするが定着したため、一旦プラン終了とする。
	医療機関訪問により患者や医療機関のニーズを把握する	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介実績がない、紹介が減っている医療機関があり、がんセンターでの治療の提供機会が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの患者に治療を受けてもらえるよう医療機関訪問を加速させる。 ○紹介数の増減から訪問先を選定し診療部と医療連携課長で訪問する。訪問先の診療内容やニーズを把握し、検査などクリニックとがんセンターの役割分担について提案や、現在のがんセンターの方針(診断前からの紹介可能、救急も受け入れている等)について紹介の機会とする。 	令和8年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関訪問は198件実施できた。がんセンターの専門的治療を必要とする患者の紹介につながるよう、診療科の医師が訪問し診療内容をアピールできた。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関訪問の方法や評価は定着しつつある。がんセンターでの専門的治療が提供できる患者を増やす取り組みは継続していく。 ○今後は、よりがんセンターの役割を果たすため、診断前の患者(がん検診で精密検査)となった患者が受診できるよう取り組みを追加していく。

(注) 実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県立がんセンター